



さんないまるやま つうしん

第 7 号

平成9年11月30日

青森県教育庁文化課

三内丸山遺跡対策室

〒030 青森市新町2丁目3-1

TEL (0177) 22-1111 (内5251・2)

FAX (0177) 77-5077

三内丸山遺跡対策室 松原分室

〒030 青森市松原1丁目14-11

TEL (0177) 74-0455

FAX (0177) 74-0456

三内丸山通信

建物あとが見つかる!

第9次発掘調査

新しい木柱出土

七月下旬から、第九次調査を行いました。この場所は、北側の川に面した台地のへりに当たります。標高は十二メートルほどで、集落が広がる標高二〇メートル前後の台地上から少し低

くなったところでした。一昨年から調査を始め、縄文時代前・中期(約五五〇〇〜四〇〇〇年前)の捨て場が見つかっていきます。昨年度の調査では、クリの木柱が一本出土しました。



左が今回出土した木柱

直径が六十センチメートル以上もある、非常に太いものです。

そこで今年度は、周辺の柱穴の有無を確認するために調査を行いました。その結果、周辺からも柱穴がたくさん見つかり、ほぼ同じところに何度も建て替えて出土した柱のすぐとなりか

らも、同じぐらいの太さの木柱が見つかりました。その配列が、六本の組み合わせになることから、建物跡である可能性が高いと考えられます。さらに、この場所が長期間にわたり、継続して使用されたことがわかります。



建物あと

四五〇〇年前)のもので、当時の人々は台地のいろいろなところに、建物を建てていました。

大盛況でした

縄文フェスタ'97

九月二十・二十一日の両日にわたり、三内丸山遺跡で開催された「活彩あおもり三内丸山・縄文フェスタ'97」には、県内外から一万



縄文フェスタ風景

六八〇〇人(二十日の縄文浪漫コンサート八〇〇〇人、二十一日八八〇〇人)の方々が訪れました。二十日は、「縄文の調べ」に聴き入り、翌日は、「縄



前夜祭の縄文浪漫コンサート

文鍋コンテスト」や「大型掘立柱建物高さの体験」などの様々なイベントに、参加していただきました。また、大型掘立柱建物の復元のために、クリの巨木を提供していただいた、ロシア・ソチ市の関係者を招待し、知事から感謝状を贈呈しました。



調査風景(上の高い所が集落のある場所
下の低い所が木柱の見つかった場所)

皇太子・同妃 両殿下が

おいでになりました

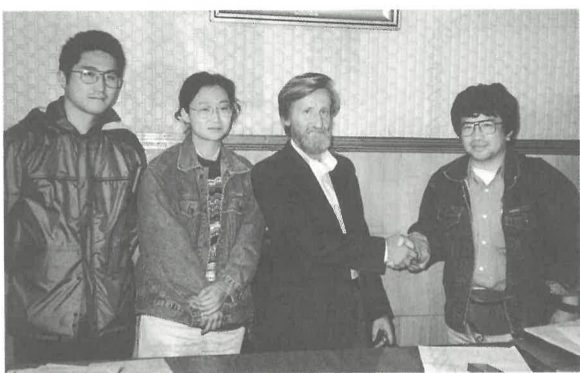
九月二十八日、皇太子・同妃両殿下が三内丸山遺跡を御視察されました。当日はあいにくの小雨模様ですが、大勢の見学者が御熱心に復元建物や遺構展示などを見学され、改めて三内丸山遺跡をきっかけに広がった縄文ロマンを楽しまれた御様子でした。



縄文文化の広がりは?

海外関連遺跡調査

三内丸山遺跡と同じ時代の関連する海外の遺跡を調べるため、昨年度の中国東北部に続き、今年度はロシア沿海州地域の調査を行い、ハバロフスク、サハリ



サハリ州郷土博物館副館長のシュービンさんと

ンを中心に博物館の展示資料を調べたり、実際に遺跡を訪ねたりしました。ハバロフスクでは、アムール川流域の遺跡や、狩猟採集民の人々の生活や文化について、特に衣・食・住などを調べました。サハリンでは、遺跡の現地踏査や博物館にある資料の調査、考古学者との意見交換も行いました。今回、北緯五十度付近のポロナイスク市近郊のザバトナヤ1遺跡から縄目の文様がついた土器が出土していることが新たにわかりました。この土器は日本の縄文土器に

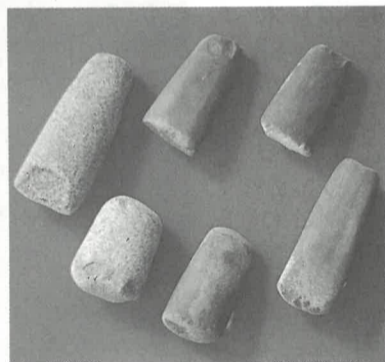
連載 ⑤

『道具をつくる』

縄文時代の人々は、身の回りの資源の利用についてよく知っていました。動物や魚、木の実や山菜の採れる時期や場所についてはもちろんのこと、道具の材料の採り方や作り方についても詳しい情報と技術を持っていました。

遺跡から出土する道具類をみると、良い材料を選び、

材質を生かした道具作りをしていたことがよく分かります。



ハンマーとして転用した磨製石斧

三内丸山遺跡で出土する石器のうち、石槍や石鏃(矢じり)、石匙(ナイフ)などは、その九割以上が割れるとガラスのように鋭く、近くでとれる珪質頁岩

(けいしつけつがん)という石で作られています。土器作りにも粘土を選び、植物の繊維や砂を混ぜたり、ていねいに磨いたり様々に工夫していました。土を掘る掘り棒や建物の柱には、堅くて丈夫なクリが選ばれています。また、鹿の角は適度な堅さと弾力性があり、ハンマーとして使われたり、分割して針や銚先に使われました。その他、動物の骨など様々なものを上手に使って巧みに道具が作られています。

大にぎわいでした

八月三日、これまでで最高の入場者数を記録しました。

夏休み期間中ということもあり、全国各地からの家族連れや旅行者でにぎわいました。

特にこの日はねぶた祭りや日曜日が重なったこともあり、一万六四八人も人が訪れ、熱心に遺跡を見学していました。

体験学習に

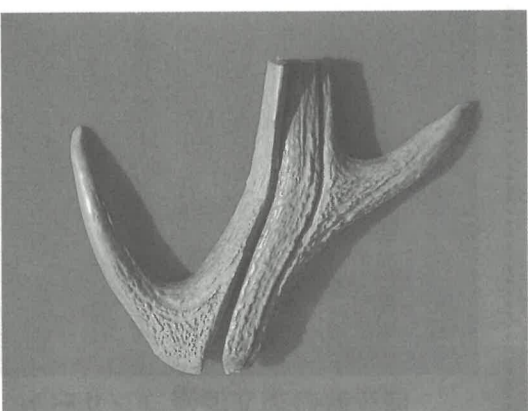
参加しよう

これからの予定は、次のとおりです。貝やシカの角をけずったり、穴を開けたりするの、けっこうむずかしいものです。あなたも一度ためしてみませんか。

- 十月二十五日(土)腕輪作り
 - 十一月 八 日(土)編布作り
 - 十二月十三日(土)釣針作り
 - 一月 十日(土)編布作り
- お問い合わせは
〇一七七一二二一一一一
内線五二五二二まで

情報展

十一月末まで「道具を作る/道具を使う」と題した展示を行っています。代表的な生活道具である石器・土器・骨角器をとりあげ、材料の選び方や、道具に残る使用の痕跡など、道具に関する掘り下げた展示です。



三内丸山遺跡の ごあんない

- 見学時間 9:00~16:30 (入場は16:00まで) (ボランティアガイドの定時説明は11月30日をもって終了します。)
- 休館日 年末年始 (平成9年12月27日から平成10年1月6日まで)
- 交通手段 市営バス 青森駅から運転免許センター行き 三内丸山遺跡前